

共同礼拝

2024年2月25日(日)午前10時30分

午後 4時

司式 牧師 姜脛米

奏楽 本多友子

前 奏

招 詞 詩 編 103編1～2節

讃 詠 546

主の祈り

聖 書

申命記 18章15節(旧309)

使徒言行録 7章17～43節(新225)

祈 禱

使徒信条

讃 美 歌 6

説 教 「ステファノの信仰」 牧師 姜 脛米

祈 禱

讃 美 歌 II 80

献 金

頌 栄 543

祝 禱

後 奏

起立が困難な時は着席のまま礼拝します。
礼拝は前の方から静かに着席しましょう。

2月の祈り

礼拝に向けての日々の歩みと心備えが常に導かれるように。

被災地の教会の伝道者・信徒が守られ、教会の復興が支えられるように。救援にあたる人々の働きが力づけられるように。

寒さ厳しい中であって。高齢、また、体調などにより礼拝に集うことがかなわないでいる兄弟姉妹たちを覚えて。

戦争と紛争の地に平和がもたらされるように。

今日の祈り

受難節、主イエスの十字架の受難と死を思い、贖いによる救いの信仰を確かめて行き、イースターの恵みに備えることができるように。

愛する家族を主の御許に送った人々に、主が寄り添い慰めが与えられるように。

戦火と天災によって困難と悲しみを負っている人々に、主のみ手が伸べられ、癒しと慰めが与えられるように。

「ステファノの信仰」 姜 脛米

使徒言行録7章17～43節

ステファノはこのモーセの生涯において何を見つめ、語ろうとしたのか。25節と35節が対比されています。それは、モーセが出エジプトの指導者となったのは、自分の手を通してではなかったということです。

イスラエルの民の指導者また解放者としてお立てになったのは神様でした。神様のみ手によって、モーセは立てられ、遣わされて、素晴らしい働きをすることができたのです。ステファノが語ろうとしているのはこのことです。

37節には、モーセが語った一つの預言が記されています。神様があなたがたの兄弟の中から、あなたがたのために、一人の預言者をお立てになるのです。「モーセのよう」ということは、イスラエルの民の指導者また解放者であり、神様と民との間に立って仲立ちをし、命の言葉を伝えてくれるということです。そのような預言者がイスラエルに現れる、それは言うもでもなく、主イエス・キリストのことです。

主イエスは、神様の民を罪と死の支配から解放して下さる救い主です。そして神様と民との間に立って、仲立ち、執り成しをして下さる方です。そして命の言葉、私たちが本当に生かす恵みのみ言葉を語り伝えて下さる、正確には、主イエスご自身が神様の生けるみ言葉、神様からの語りかけであり、私たちが本当に生かすみ言葉であられるのです。

まことのイスラエル、神の民とは、モーセを通して、そして主イエス・キリストにおいて与えられた命の言葉、み言葉によって生きる民です。主イエス・キリストによって神様は私たちに、新しい約束のみ言葉を与え、私たちと新しい契約を結んで下さいました。

それは私たちが自分の手、自分の情熱、力、決心によって何かを成し遂げたからではないし、掟を守って正しい者として生きているからでもありません。そのようなことでは挫折するしかない私たちを、神様が、主イエスの十字架と復活によって、赦して下さい、新しい命、永遠の命に生きる神の民として下さるのです。この約束のみ言葉こそ、私たちが本当に生かす命の言葉です。私たちはこの命の言葉を聞きながら、このみ言葉に支えられて、荒れ野のようなこの世を旅していくのです。